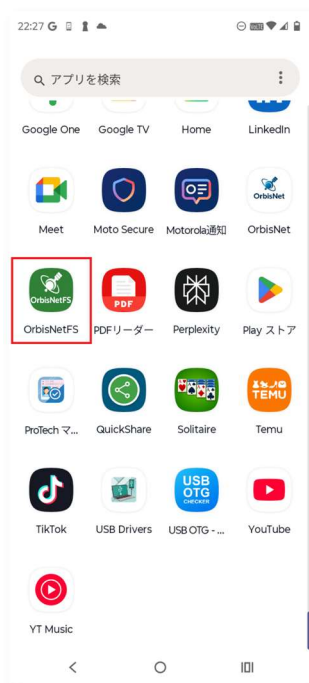


# OrbisNetFS 観測マニュアル

GNSS 観測からデータ取り出しまで

## 1. 観測の方法

1. 受信機とアンテナを接続します。
2. 受信機とモバイルバッテリーを接続します（電源 ON）。



3. 約 30 秒待ってから、OrbisNetFS を起動します。



4. 「受信機と接続」ボタンをタップします。
5. 数秒で接続します。接続できない場合は受信機の電源を再投入してください。



6. 測点名を入力し、「観測」ボタンをタップします。



7. 観測モード選択ボタンをタップします。



8. 30分・60分・120分はタイマーで自動終了します。

9. 連続観測では任意の時間観測できます。



10. 連続観測終了時は「観測停止」ボタンをタップします。



11. 「観測結果 OK」をタップします。

12. 「保存して戻る」ボタンをタップします。



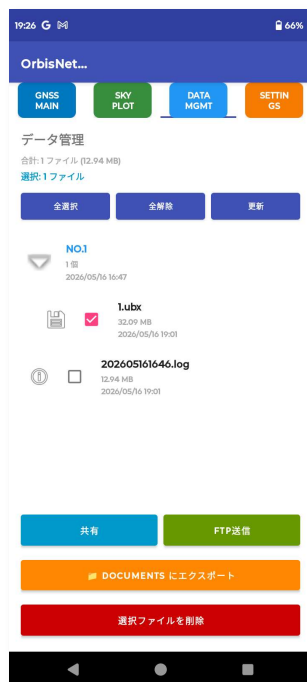
13. 「閉じる」ボタンをタップします。



14. 「OK」をタップして終了します。

**ポイント：** 観測前にアンテナ接続と電源状態を確認してください。

## 2. 観測データの取り出し方



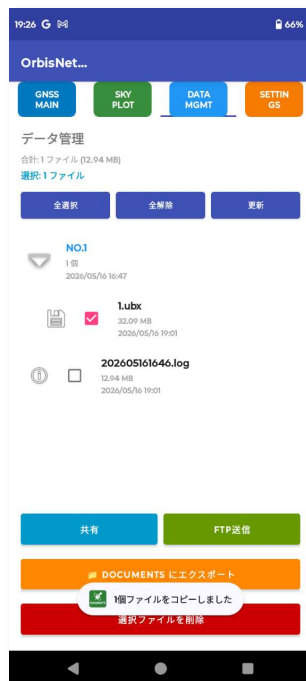
15. DATAMGMT (データ管理) タブをタップします。

16. 生データ ubx ファイルにチェックを入れます。

17. 「DOCUMENTS にエクスポート」 ボタンをタップします。



18. 「コピー」をタップします。



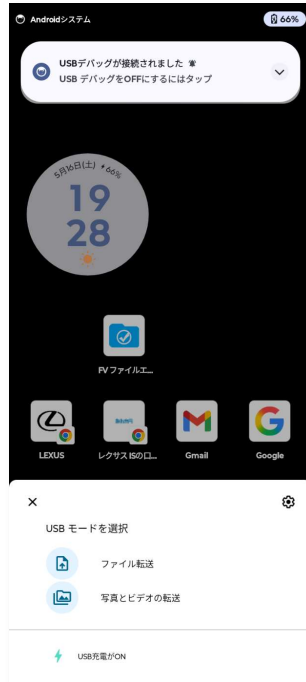
19. 「1 個ファイルをコピーしました」というメッセージを確認します。



20. GNSSMAIN に戻り、「閉じる」ボタンをタップします。



21. 「OK」をタップして終了します。

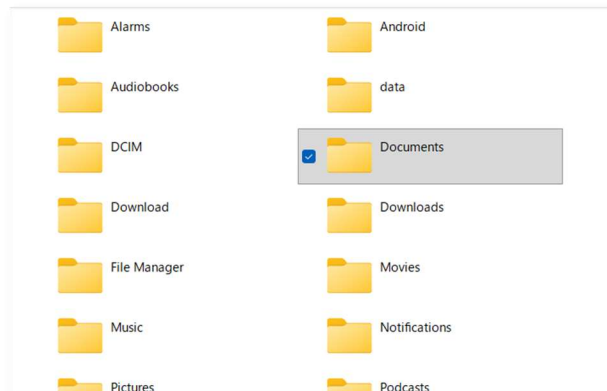


22. PC と USB で接続します。

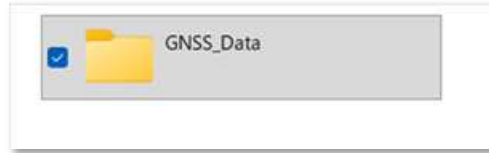
23. 「ファイル転送」を選択します。



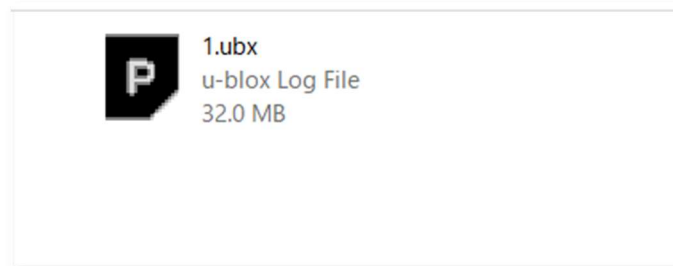
24. PC 側に表示される「内部ストレージ」をダブルクリックします。



25. Documents フォルダを開きます。



26. GNSS\_Data フォルダを開きます。



27. RAW データを取り出します。

**補足：** RAW データ（ubx）は、後処理解析や RINEX 変換に使用できます。